

受け継ぐ文化を尊重する矜持と態度

世界地理的な広がり時間を積層する

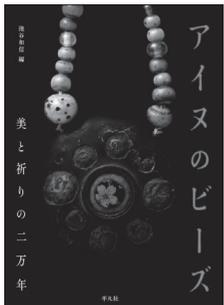
知 足 美 加 子

池谷 和信編

アイヌのビーズ

美と折りの二万年

本書は「アイヌのビーズ」文化における美と折りを核として、横軸に世界の地理的な広がり、縦軸に二万年からの時間を積層している。アイ



A 5判・288頁・3740円
平凡社
978-4-582-83896-1
TEL. 0570-045-820

学、文化人類学、科学、アイヌ文化等の論者が、ビーズのようにつなぎ合っ

に入ってくる。アイヌの「交易」によるグローバルなネットワークは、驚くほど広い。北海道の海

ズはフチ達への敬意の象徴であり、文化継承の能動的動機となっている。

地理的な広がりとして、北東アジアの少数民族コリヤークや北アメリカ先住民、台湾原住民族パイワン、アフリカの牧畜民サンプルのビーズ文化について紹介されている。現代におけるアイヌのアートシーンの紹介も興味深い。貝澤徹の蜘蛛の首飾り《ヤオシケブカムイ(蜘蛛の神様)》(二〇二一年)はモチーフの独創性とウロコ彫り伝統技法が組み合わされた見事な作品である。アイヌのビーズ作品を概観すると、文化多様性の受容

★いけや・かずのぶ 国立民族学博物館人類学明誌研究部教授・環境人類学・人文地理学。著書に『トナカイの大地、クシラの海の民族誌』など。

週刊読書人2022年6月3日号

「週刊読書人」(<https://jinnet.dokushojin.com/>)という週間の新聞からの依頼で、書評を書いています。

23年前に、北海道二風谷でアイヌ民族に関するアートプロジェクトを行いました。その時設置した彫刻碑文に「受け継ぐ文化」という文言がありました。本稿につけてくださった見出しを嬉しく思いました。

「二風谷プロジェクト報告(1999年)」
<https://www.design.kyushu-u.ac.jp/~tomotari/nibutanireport.html>